

# 令和3年度「消費者啓発の標語」入選作品

## 最優秀賞

<エシカル消費啓発部門>

エシカル消費 「知っている」から「している」に

山口県立岩国高等学校 1年 柳<sup>ヤナ</sup>瀬<sup>セ</sup> 雄<sup>ユウ</sup>太<sup>ウタ</sup>

【選定理由】

「エシカル消費」そのものについて、わかりやすい言葉を用いて「理解」から「行動」へと変化させようとしており、具体的な行動を促進しようと呼びかけている点が高評価に繋がりました。

<高齢消費者被害防止啓発部門>

その決断 ひとりで悩まず 相談を

山口県立西京高等学校 2年 堤<sup>ツツミ</sup> 悠<sup>ユウ</sup> 晴<sup>セイ</sup>

【選定理由】

詐欺電話の防止にとって、相談の大切さが上手に表されており、「ぜひ実践してほしいこと」として、広い範囲で意味のある標語です。

<若年者の消費者意識啓発部門>

SNS 便利と危険は 紙一重

野田学園中学校 2年 齋<sup>サイ</sup>藤<sup>イトウ</sup> 香<sup>カ</sup>凛<sup>リン</sup>

【選定理由】

SNSを利用した詐欺や消費者被害について、利便性と危険性を上手く表現し、SNS依存率の高い若年層への啓発が的確にされている作品であり、安易にSNSを利用する前にぜひ心にとめておいてほしい標語となっています。

## 優秀賞

<エシカル消費啓発部門>

繋げよう 未来へのバトン エシカル消費

山口県立宇部商業高等学校 2年 中<sup>ナカ</sup>野<sup>ノ</sup> 智<sup>トモ</sup>貴<sup>キ</sup>

<高齢消費者被害防止啓発部門>

大丈夫？ 電話の向こうの その相手

山口県立西京高等学校 2年 松<sup>マツ</sup>村<sup>ムラ</sup> 一<sup>イチ</sup>花<sup>カ</sup>

<若年者の消費者意識啓発部門>

フィッシング 釣られる魚は あなたのカード

野田学園中学校 2年 鈴<sup>スズ</sup>木<sup>キ</sup> 奏<sup>カナ</sup> 惠<sup>エ</sup>

## 佳作

<エシカル消費啓発部門>

考えよう 商品一つの いるいない

山口県立岩国高等学校 1年 藤<sup>フジ</sup>中<sup>ナカ</sup> 希<sup>キ</sup> 叶<sup>キョウ</sup>

<高齢消費者被害防止啓発部門>

録音を 有効活用 「詐欺防止」

宇部市 桶<sup>オケ</sup>田<sup>ダ</sup> 敏<sup>トシ</sup> 治<sup>ハル</sup>

<若年者の消費者意識啓発部門>

まず確認 良い話には 裏がある

山口県立岩国高等学校 1年 杉<sup>スギ</sup>村<sup>ムラ</sup> 萌<sup>モエ</sup>